



児童虐待は社会全体で解決すべき問題です

現在、児童虐待が急激に増加しており、深刻な社会問題になっています。児童虐待は、子どもに対する極めて重大な人権侵害で、子どもの「こころ」と「からだ」に深い傷を残し、将来に大きく影響する行為です。

児童虐待のサインをキャッチしましょう

子どもだけでなく、虐待をしている保護者も困っています。周囲の人が下記のような“サイン”を見逃さないことが重要です。

子どもの特徴

- 原因不明の不自然なけが多い。
- 服装や顔、髪の毛、口腔内が不衛生
- 表情や反応が乏しく、元気がない。
- 年齢相応の生活習慣が身に付いていない。



保護者などの特徴

- 子どもとの関わりが乏しい。
- 子どもへの怒り方が異常、態度が冷たい。
- 夫婦喧嘩が絶えず、どちらかに暴力を受けた傷がある。
- 地域の中で孤立している。



児童虐待を防ぐために

11月は「児童虐待防止推進月間」です



オレンジリボンには子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。

平成29年度標語

いちはやく
知らせる勇氣
つなぐ声

虐待の早期発見のために

虐待の発生予防や早期発見には、地域の皆さんの協力が重要です。虐待かどうかを判断する必要はありません。「虐待かも」と感じたら、すぐに連絡をお願いします。連絡した人の秘密は守られます。

通告・相談窓口

児童相談所全国共通ダイヤル189

189 (24時間対応)

県南児童相談所

048-262-4152
(平日、午前8時30分～午後6時15分)

こども家庭相談センター(こども家庭課内)

433-2222 (月～金曜日、午前9時～午後5時)

※子どもの生命に危険が及ぶと感じたときは、速やかに110番通報をお願いします

子どもたちの相談窓口

子どもが全国どこからでも、いじめやその他のSOSを相談することができます。

24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310 (24時間対応)

【問い合わせ こども家庭課(内線450)】

公共施設などの ファシリティ マネジメント に取り組んでいます

近年、学校や市営住宅といった公共施設、道路や上下水道といったインフラの多くで老朽化が進行しており、その修繕・改修などにかかる維持管理費の増加が課題となっています。市では、この課題を解決するため、ファシリティマネジメントに基づいた施設の再編に取り組んでいます。

ファシリティマネジメントとは

公共施設を従来のように維持管理してだけでなく、行政における「経営資源」として捉え、総合的に企画、管理、活用する取り組みをファシリティマネジメントといいます。

再編ってどんなもの？

再編のイメージを市ホームページで わかりやすく紹介

各公共施設の再編に係る中長期的な方向性を示した「公共施設再編プラン」を平成29年2月に策定しました。本プランに示す再編手法について、皆さんに具体的にイメージしていただけるよう、市ホームページで他自治体の再編事例(複合化、民間活用、指定管理者導入など)を紹介しています。再編に至った主な要因である公共施設などの老朽化についても説明していますので、ぜひご覧ください。

老朽化した近隣の2つの施設の場合…

僕たち、図書室や調理室など同じ部屋をそれぞれ持っているね

同じ部屋は皆で一緒に使えるね

有効活用できてスッキリしたね



学校

公民館



学校+公民館

＊問い合わせ 資産管理課(内線449)＊